

2020年度事業報告書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的人権が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与した。

2 本年度重点項目

- ・患者家族滞在施設運営事業(①)
ボランティアの持つスキルを活かして、利用者へのサービスの質の向上を図った。
- ・保育事業(③)
心理や危機管理に関する外部研修に参加して、きょうだい児に寄り添う安全な保育を実施した。
- ・難病の子ども達の課題を解決して行く為の支援事業(④)
きょうだい児支援に関するシンポジウムを開催し、支援の社会的周知と他団体との連携を図った。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

支出額：11,315,658円

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任を保ち、利用者が気持ちにゆとりを持って看病に専念して頂けるよう最適な環境を提供した。緊急事態宣言下では利用家族数が減少したが、必要とされる家族のため対策を講じて運営を継続した。ボランティアスタッフは活動を休止、スタッフ駐在時間を短縮した。7月以降は通常通り運営しているが、消毒や換気に務め、日常の管理業務以外のボランティア活動の休止、利用者の宿泊人数制限を継続している。

運営期間： 通年

従事者： 約70名

対象者： 病児とその家族

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

利用者数： 2,044名

平均稼働率： 42.1%

② 家族の交流の場の提供事業

支出額：12,884円

ア コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催

内容： 8月15日～16日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。出演者より子どもとご家族に向けたメッセージ動画を作成いただき、ホームページで公開した。

イ バザー開催

内容： 10月18日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し

③ 保育事業

支出額：3,681,994円

ア きょうだい児保育事業(横浜市の認可外保育施設として認証)

(新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金助成事業)

内容： 医療センターへ入通院する病児のきょうだい児を保育士が預かり、保育した。きょうだい児が安全で楽しい時間を過ごし、病児家族が安心して病院へ向かえる環境を提供した。緊急事態宣言下では利用者とスタッフの安全のため一時休園した。再開後は利用希望が増加し、運営費用の補助と保育料を引き下げ利用者負担を軽減するため助成金を活用した。また、医療センター内のきょうだい預かりグループとの連絡会では、面会制限によって入館できないきょうだい児のため、情報を共有し利用家族のサポート体制を強化した。

運営期間： 通年(4月5日～5月31日まで休園)

従事者： 10名

対象者： 病児のきょうだいとその家族

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

年間利用者： 555名

イ 研修会等への保育士派遣

内 容： 他団体が主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等での預かり保育に派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により依頼を受けなかつ

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

支出額：299,545円

ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援

内 容： 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

イ チャリティーコンサートの開催

内 容： 7月11日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

ウ 病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業

(かながわボランティア活動推進基金21助成事業)

内 容： きょうだい児の抱える課題や必要な支援についての社会的周知、支援者同士の交流を目的としたシンポジウムの開催。10月3日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して1月9日に延期した。会場では感染防止対策を講じて実施、オンライン配信も併用し行った。全国から多くの方に参加いただくことができた。

開催日： 1月9日

従事者： 19名

対象者： 一般市民

場 所： かながわ県民センターホール

参加者： 会場17名・オンライン111名

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

支出額：580,927円

ア 組織基盤強化事業

(PanasonicNP0サポートファンド 助成事業)

内 容： 「創業期体制からの移行・次世代への事業継承に向けた組織基盤強化」をテーマとした。事業継続が認められ、3年目となる本年は、中長期計画の策定、広報活動の強化、組織マネジメント担当者の育成に取り組んだ。オンラインを活用し、スタッフや支援者とのコミュニケーションを大切に事業を進めた。3年間の取り組みで広報に関する課題も整理し、各事業の利用者の利便性の向上、支援者への活動状況等の情報公開を目的としてホームページのリニューアルを行った。

従事者： 約80名